

予算委員会第七分科会で初質問



碧海の産業発展に向けカーボンニュートラル政策へ提言

2月17日(木)、予算委員会第七分科会(経済産業省所管)において、初めて質問の機会を得ることができました。カーボンニュートラル政策において碧海地域の産業力が停滞することなく、引き続き発展ができる環境づくりを政府に提言をしました。自動車産業に関しては、電気自動車に特化することなく、従来のエンジン・内燃機関を持つ合成燃料車を含めすべての選択肢を維持した政策を継続することを確認しました。

〔主な口質問と■回答〕(抜粋)

□石井 地元愛知県の主要産業である自動車産業におけるグリーン成長戦略について、自動車のライフサイクル全体で2050年までにカーボンニュートラル達成を目指すことになっている。自動車全体でCO2を出さないものに変えていかなければならない。電動車と脱炭素燃料である合成燃料車の開発にもっと力を入れるべきである。成長戦略において合成燃料車の位置付けはどのようになっているか。

■福永政府参考人 現時点で合成燃料車は完全な技術は存在していないと認識している。当面は、特定の技術に限定することく多様な選択肢を追求する方向である。電気自動車のみならず、ハイブリッド車、燃料電池自動車、先生が強調された合成燃料やさらに水素燃料の活用などあらゆる技術の開発に戦略的に取り組むことが政府の方針である。

□石井 二酸化炭素と水素でつくる合成燃料の開発は、自国で燃料、エネルギーを作ることができるため国民の期待が強く寄せられている。この合成燃料の実用化は、「我が国百年の憂いと百年の未来を同時に解決する」重要なことである。どのように技術開発や実証等について取り組むのか。

■定光政府参考人 産学官連携によって革新的新規技術の開発に取り組んでいる。2030年までに日本勢による製造技術の確立を目指し、2040年以降の商用化を目指している。

□石井 公共用の充電器や水素ステーションをもっと増やし、ガソリン車並みの利便性を確保するとある。国としてどのようにアプローチしていくのか。

■茂木政府参考人 急速充電器3万基を含む公共用充電器15万基を整備し、水素ステーションについては1000基増設する計画である。既存のガソリンスタンドなどサービスステーションは、石油製品の供給を維持し水素や電気へのエネルギー供給を担う「総合エネルギー拠点」として発展することへの支援をする。

□石井 自動車産業のサプライチェーンを形成する関連企業は、中小・零細企業が多く存在する。電気自動車へ転換した場合、総部品点数が約3万から2万点へ減少し、企業存続が厳しい状況となりかねない。雇用の喪失も懸念され、地域にとって重要な問題である。自動車部品サプライヤー事業転換支援事業について概要と成果目標についてはどのようなものか。

■福永政府参考人 中小企業の事業転換への取り組みに伴走型で積極的な支援を行っていく。戦略の策定や技術開発、経営における相談窓口を設置して支援していく。目標としては、専門家派遣を100社と相談受付・実地研修等を含め計1000社の支援を目指してまいります。また、自動車産業集積地域を中心とした自律的な支援ネットワークの構築も同時に推進してまいります。

#141taku

<https://141taku.com>

石井 拓

検索



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



ツイッター

#141 Taku Graph

通常国会が始まり予算委員会に初出席や分科会で初質問など議員活動が本格的にスタートしました。経済界や県議・市議と共に連携し石井拓の理念である碧海の為の“地域づくり”に向けた活動が始動しました。



予算委員会に出席（写真中央部）



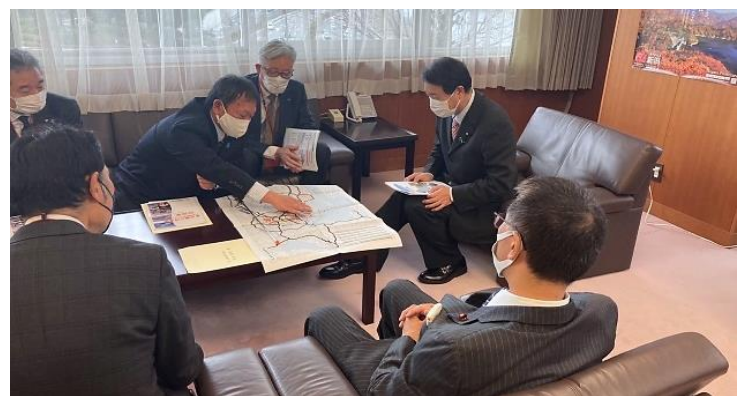
安倍晋三元総理大臣、西村康稔前経済再生担当大臣へ
碧南市特産の人参「へきなん美人」を P R



海外日本人学校の環境整備について「在外教育推進議員連盟」より末松信介文部科学大臣、鈴木貴子外務副大臣へ申し入れ



知立駅周辺再開発について知立市役所にて事前説明を受ける



名古屋三河道路早期実現に向け刈谷市長と関係企業が
国交省にて泉田裕彦政務官と要望会



〔発行〕

石井拓事務所

自由民主党愛知県第十三選挙区支部

〒447-0877 碧南市栄町4-82-102

TEL/FAX 0566-48-2920